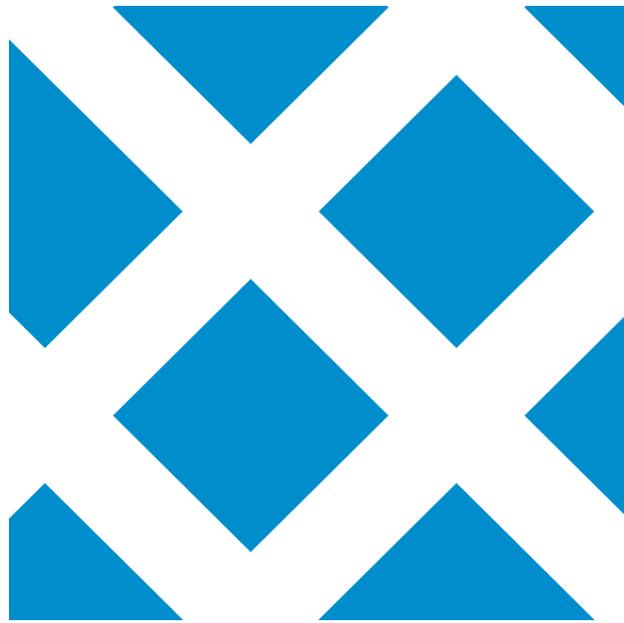


教育委員会事務の点検・評価報告書

(令和元年度)



令和 2 年 9 月
萩市教育委員会

■ 目 次

1	教育委員会事務の点検及び評価の趣旨	1
2	点検及び評価の対象	1
3	点検及び評価の方法	2
4	点検及び評価の結果	3
	<事業点検・評価シート>	
No.1	ふるさと萩への誇りと志の育成	3
No.2	学力の向上	5
No.3	豊かな心の育成	7
No.4	健やかな体の育成	10
No.5	地域コミュニティの核としての学校づくり	12
No.6	教育の専門家としての教師の育成	14
No.7	特色ある学校づくりの推進	15
No.8	教育環境の整備	17
No.9	生涯学習の基礎づくり	20
No.10	生涯学習の場と人づくり	23
No.11	生涯学習によるまちづくり	25
No.12	生涯スポーツの推進	27
No.13	競技水準の向上	29
No.14	人材の育成	30
No.15	スポーツの推進による交流人口の拡大及び地域の活性化	31
No.16	図書館運営を通じた官民協働及び読書活動の推進	33
No.17	家庭・地域・学校・図書館での子どもの読書活動の推進	35
No.18	子どもの読書活動推進のための環境整備及び推進者への支援	37
No.19	読書活動への理解と関心を深めるための啓発活動	39

1 教育委員会事務の点検及び評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律において、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないと定められています。

萩市教育委員会では、当該規定に従い、事務の点検及び評価を実施し、本報告書を作成しました。

2 点検及び評価の対象

次に掲げる事項を令和元年度の点検及び評価の対象として選定しました。

- (1) ふるさと萩への誇りと志の育成
- (2) 学力の向上
- (3) 豊かな心の育成
- (4) 健やかな体の育成
- (5) 地域コミュニティの核としての学校づくり
- (6) 教育の専門家としての教師の育成
- (7) 特色ある学校づくりの推進
- (8) 教育環境の整備
- (9) 生涯学習の基礎づくり
- (10) 生涯学習の場と人づくり
- (11) 生涯学習によるまちづくり
- (12) 生涯スポーツの推進
- (13) 競技水準の向上
- (14) 人材の育成
- (15) スポーツの推進による交流人口の拡大及び地域の活性化
- (16) 図書館運営を通じた官民協働及び読書活動の推進
- (17) 家庭・地域・学校・図書館での子どもの読書活動の推進
- (18) 子どもの読書活動推進のための環境整備及び推進者への支援
- (19) 読書活動への理解と関心を深めるための啓発活動

3 点検及び評価の方法

前項に掲げる事項について、点検・評価シートにより、各項目の実施状況に係る成果を検証し、今後の取組について検討しました。

また、点検及び評価の実施にあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、萩市ひとづくり構想推進委員会において、意見をいただきました。

4 点検及び評価の結果

令和元年度 点検・評価シート

NO. 1

項目	ふるさと萩への誇りと志の育成	担当課	学校教育課
目的・目標	学校、家庭、地域、産業界等が連携した志教育を推進し、主体的に自らの未来を切りひらくとともに、郷土に誇りと愛着を持ち、地域に貢献する子どもを育成する。		
実施状況・成果	<p>1 萩・農下村塾事業</p> <p>農業体験・職業講話の実施率100%（目標値：100%）</p> <p>地域の農事組合法人等と連携して田植え、稲刈り等の体験を実施したほか、地域に誇りと愛着を持って働く人々と接することで、萩を誇りに思う心情の育成に努めた。</p> <p>2 13歳 志プロジェクト事業</p> <p>(1) 1／2成人式及び立志式の実施率100%（目標値：100%）</p> <p>(2) 小学校における職場見学の実施率100%</p> <p>小学校における職場体験の実施率33%</p> <p>中学校における職場体験の実施率100%</p> <p>(3) 将来の夢や目標を持つ児童生徒の割合の向上</p> <p>全国学力・学習状況調査において、将来の夢や目標を持っているかの問いに、当てはまる又はどちらかといえば当てはまると回答した児童生徒の割合</p> <p>① 小学校88.0%（前年度87.1%・全国平均83.8%）</p> <p>② 中学校78.5%（前年度84.3%・全国平均70.5%）</p> <p>3 松陰教学推進事業</p> <p>副読本の活用率100%（目標値：100%）</p> <p>副読本の配布実績 小学3年生「わたしたちのふるさと萩」</p> <p>小学4年生「松陰読本」</p> <p>中学1年生「郷土 萩」</p> <p>4 萩・お宝活用プロジェクト事業</p> <p>プロジェクトの実施率88%（目標値：90%）</p> <p>施設見学実績 ① 萩博物館 11校</p> <p>② 萩・明倫学舎 7校</p> <p>③ 世界遺産関連地 2校</p> <p>④ ジオパーク関連地 6校</p> <p>⑤ 山口県立萩美術館・浦上記念館 10校</p>		

	<p>5 長州ファイブジュニア派遣事業</p> <p>派遣生徒及び保護者の満足度100%（目標値：100%）</p> <p>英国内の長州ファイブゆかりの地への訪問により、郷土を愛し、郷土に貢献する意識及び豊かな国際感覚の醸成を図った。</p>
<p>今後の取組</p>	<p>1 萩・農下村塾事業</p> <p>各地域の特色を考慮した活動となるよう、各校の意見を参考にしながら、具体的な取組について、改善を図る。</p> <p>2 13歳 志プロジェクト事業</p> <p>子どもの成長を地域とのつながりの中で支えられるよう、地域と連携した1/2成人式及び立志式を推進するとともに、キャリア・パスポートの活用を促す。</p> <p>3 松陰教学推進事業</p> <p>社会科又は総合的な学習における副読本の活用により、萩を愛し、誇りに思う心情を育てる。</p> <p>4 萩・お宝活用プロジェクト事業</p> <p>世界遺産をはじめ、萩の自然、歴史、文化等について事前学習を十分に行い、多くの現地を訪問することで、学習効果の向上を図るとともに、ジオパーク関連地を活用し、地形、地質等の観点からの学習を積極的に導入する。</p> <p>5 長州ファイブジュニア派遣事業</p> <p>豊かな国際感覚を持ち、グローバルな視点で行動できる人材をより多く育成するため、研修先の変更を含めて事業内容を検討する。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・松陰教学や世界遺産、ジオパークといった地域の学習への取組について、各地域で温度差があるように思う。 ・世界遺産やジオパーク等について、その所在地域の子どもたちは、しっかりと学習し、ガイド活動にも取り組まれているが、別の地域の子どもたちには、まだ十分に浸透していないこともあるように思う。どの地域の子どもでも、世界遺産やジオパークをはじめとした、別の地域の魅力を学習し、他者に説明できるようになれば良いと思う。子どもたちにとっても、萩市の魅力を再認識するきっかけになると思うので、是非取り組んでいただきたい。

項目	学力の向上	担当課	学校教育課
目的・目標	各小中学校における学力向上の取組の工夫改善及び充実を図るとともに、小中連携、小小連携及び中中連携並びに保護者及び地域との協働により、児童生徒に確かな学力をつけさせる。		
実施状況・成果	<p>1 確かな学力育成事業</p> <p>(1) 中学校における毎時間の授業評価実施率21%（目標値：100%） 毎時間ではないものの、79%の学校が、半数以上の授業で取り組んでいる。</p> <p>(2) 学校運営協議会委員参加の授業改善への取組率100%（目標値：80%） 参観日、校内授業研究会等を活用し、学校運営協議会委員の授業参観を実施した。</p> <p>(3) PDCAサイクルに基づく授業改善への取組率100%（目標値：100%）</p> <p>(4) 全教員の年間2回以上の授業公開の実施率100%（目標値：100%）</p> <p>(5) 全国学力・学習状況調査における各教科の平均正答率が、全国平均より3%以上高い学校の割合（目標値：80%以上）</p> <p>① 小学校59.4%（前年度26.3%） 教科別：国語63%、算数56%</p> <p>② 中学校54.8%（前年度35.7%） 教科別：国語50%、数学64%、英語50%</p> <p>(6) 全国学力・学習状況調査における各教科の正答率</p> <p>※（ ）内は、全国平均正答率</p> <p>① 小学校 国語68%（63.8%） 算数68%（66.6%）</p> <p>② 中学校 国語75%（72.8%） 数学63%（59.8%） 英語55%（56.0%）</p> <p>2 学校支援事業</p> <p>(1) 萩市学校教育研究発表大会における参加者の満足度の向上を図る。</p> <p>(2) チェックリストによる授業改善の実施率100%（目標値：100%）</p> <p>(3) 外国語活動及び英語科教育の充実</p> <p>① ALT6名を市内全小中学校に派遣するとともに、英語学習指導員1名を市内中学校に配置した。</p>		

	<p>② 中学生の英検 3 級以上の受験に係る受験料について、全額補助を実施した。</p> <p>③ 英検受験予定者を対象に、放課後英検チャレンジ教室及び夏休み英語教室を全中学校で開催した。</p> <p>④ 小学生を対象に 2 回のイングリッシュ・キャンプを実施した。</p> <p>(4) へき地における複式教育の充実</p> <p>複式指導サポートブックを活用し、複式学習指導員による学校訪問及び指導助言を実施した。</p>
<p>今後の取組</p>	<p>1 確かな学力育成事業</p> <p>(1) 授業評価について、適切に実施されるよう全小中学校に周知を図る。</p> <p>(2) 全国学力・学習状況調査等の結果について、誤答分析を行い、児童生徒の課題を把握するとともに、当該分析結果を授業改善に生かす取組を進める。</p> <p>(3) 英検の受験勸奨に取り組むなど、英語への関心及び意欲の向上に努める。</p> <p>2 学校支援事業</p> <p>(1) 萩市学校教育研究発表大会の内容の充実を図るとともに、多くの保護者、学校運営協議会委員、地域住民等の参加に努める。</p> <p>(2) 佐々並小学校、明木小学校及び見島小中学校でのテレビ会議システムによる遠隔合同授業の実証研究の成果を踏まえ、今後、全小中学校において、テレビ会議システムを活用した取組の推進を図る。</p> <p>(3) 引き続き複式学習指導員による学校訪問及び指導助言を行う。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒による授業評価について、評価結果が適切に授業改善に活用されるようにしていただきたい。評価の結果を教員が 1 人で抱え込むことがないように、評価の内容を学校全体で共有し、他の教員が客観的に改善点を検討するなど、授業の改善という形で子どもたちに還元されるような仕組みづくりをする必要があると思う。また、生徒によっては、正直な状況を書きにくいと感じる生徒もいると思うので、評価の方法についても、より良い形で実施できるよう検討されたい。 ・佐々並小学校等で実施している遠隔合同授業は、良い取組であり、子どもたちの交流もできるので、継続して実施してほしい。今後、全小中学校において、テレビ会議システムの活用を図られるということで、子どもたちの交流の輪が全市に広がるものと期待している。 ・1 人 1 台パソコンが整備される予定ということだが、使用者のスキルの問題や各家庭のネットワーク環境等、活用には課題も多いと思われる。できることから積極的に挑戦し、十分な活用が図られるよう取り組んでいただきたい。 ・自分の言葉で発表する、回答する力を高める取組に力を入れてほしい。

項目	豊かな心の育成	担当課	学校教育課
目的・目標	自他の良さを認め合い、他人を思いやる優しい心を持った子どもを育成する。また、いじめや不登校等の生徒指導上の諸課題の未然防止を図るとともに、問題を抱えた児童生徒及び保護者に対して、共に悩み、寄り添う支援を行う。		
実施状況・成果	<p>1 生きる力を持った子ども育成事業</p> <p>(1) チャレンジ目標の設定及び学校評価への位置づけ実施率100% (目標値: 100%)</p> <p>各学校は設定したチャレンジ目標の達成のため、学校評価への位置づけ及び具体的な数値目標の設定を行い、PDCAサイクルによる検証を実施した。</p> <p>(2) 週1回のアンケートの実施率100% (目標値: 100%)</p> <p>週1回以上の生活アンケートにより、困っている子どもの早期発見に努めるとともに、アンケート結果については、学校と教育委員会が情報共有した。</p> <p>2 スクールガードリーダー設置事業</p> <p>(1) 登下校時における無事故の学校の割合90.6% (目標値: 80%)</p> <p>(2) 3名のスクールガードリーダーを配置し、全小中学校へ派遣した (各校平均4回)。学校の安全管理に係る指導助言、学校内外のパトロール、通学路の安全点検、防犯・災害避難訓練の講師等に従事し、事件事故の未然防止に努めた。</p> <p>3 子ども相談・支援室事業</p> <p>(1) 小中学校の生徒指導上の諸課題の解決等のため、子どもに関わる相談や支援の充実に努めた。いじめに関しては早期にスクールカウンセラーを派遣し、ケース会議を開いた。不登校に関しては萩輝きスクールにより、教室復帰を目指す児童生徒を、経験豊富な6名の支援員が支援するとともに、保健師、児童相談所の心理士、医療機関等と連携し、不登校の子どもの家族の支援に当たった。</p> <p>(2) いじめ、不登校及び暴力行為の状況</p> <p>※ 数値は、児童生徒100人当たりの件数、()内は前年度</p> <p>① いじめ 小学校 4.03 (2.59) 中学校 8.88 (4.22)</p> <p>② 不登校 小学校 0.49 (0.48) 中学校 3.55 (2.51)</p> <p>③ 暴力行為 小学校 2.77 (1.06) 中学校 3.24 (3.12)</p> <p>(3) いじめについては、小学校で74件、中学校で85件認知された。いじめの認知件数の増加は、各学校において、いわゆる「いじり」や「からかい」などもいじめとして幅広く捉え、早期発見・早期対応に努めた結果であり、適切に</p>		

	<p>判断されたものと考えている。なお、認知されたいじめについては、全職員が組織的に対応し、ほぼ解消している。</p> <p>※ 前年度件数：小学校49件、中学校42件</p> <p>(4) 不登校（年間30日以上欠席）の児童生徒数は、小学校で9人、中学校で34人であった。不登校の理由は個別の事案ごとに様々である。関係機関と連携して対応する事案については、子ども相談・支援室が参加するケース会議を開催し、継続的な支援を行っている。</p> <p>※ 前年度件数：小学校9人、中学校25人</p> <p>(5) 暴力行為は、小学校で51件、中学校で28件発生した。件数が増加した理由としては、同じ児童生徒が繰り返し暴力行為を行ったことのほか、言葉によるコミュニケーションを苦手とする児童生徒が、他者の言動に対して感情的になり、暴力行為に直結してしまうことが挙げられる。</p> <p>※ 前年度件数：小学校20件、中学校31件</p> <p>4 子育て科創設事業</p> <p>子育て科の実施率100%（目標値：100%）</p>
<p>今後の取組</p>	<p>1 生きる力を持った子ども育成事業</p> <p>トラブルを起こしやすい児童生徒に対しては、保護者、学校、関係機関及び地域が協力し、なるべく早いうちから支援に入ることができる体制づくりに努める。</p> <p>2 スクールガードリーダー設置事業</p> <p>「自分の身は自分で守る」をモットーに、避難訓練、危険予知トレーニング学習等をスクールガードリーダーと学校が協力して実施する。</p> <p>3 子ども相談・支援室事業</p> <p>(1) いじめについては、子ども相談・支援室が継続的に全小中学校を訪問するとともに、各校のいじめ対策会議に参加する等、関係機関と連携を図り、いじめの未然防止に努める。</p> <p>(2) 不登校については、萩輝きスクール、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等に円滑につなぐため、不登校初期から学校、保護者及び関係機関と連携し、支援ができる体制を整える。また、新規の不登校の発生防止を図るため、他校や他校種等との情報交換を行い、専門家等の助言を受けながら、児童生徒の居場所づくり・絆づくりに努める。</p> <p>4 子育て科創設事業</p> <p>事業開始から6年目を終え、学校でも定着しているため、継続して実施する。</p>

学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none">・不登校の児童生徒には、原因となった事情や、不登校の態様等、それぞれに異なった状況があると思うが、各ケースに応じた対応に引き続き取り組んでいただきたい。・萩輝きスクール等に通うことができず、家に引きこもってしまっている児童生徒については、特に対応が困難なケースだと思うが、自宅訪問等によりコミュニケーションを図るなど、外に出るきっかけを作れるよう、粘り強く対応していただきたい。
----------	--

項目	健やかな体の育成	担当課	学校教育課
目的・目標	学校、家庭及び地域が連携し、子どもの発育段階に応じた基礎体力の向上、望ましい生活習慣の形成を図り、健やかな体づくりを推進する。		
実施状況・成果	<p>1 一校一取組推進事業</p> <p>年間を通じ、毎週決まった曜日・時間に運動を実施する学校の割合42%（目標値：100%）</p> <p>2 保健推進事業</p> <p>(1) 児童生徒の95%以上が朝食を食べる学校の割合80%（目標値：100%）</p> <p>(2) 生活習慣のチェック及び改善を保護者と共に実施する学校の割合100%（目標値：100%）</p> <p>3 食育推進事業</p> <p>(1) 担任、栄養教諭、栄養士及び養護教諭とのチーム・ティーチングによる食育指導を実施し、バランスよく食べることの重要性を指導した。</p> <p>チーム・ティーチングによる食育指導を実施した学校の割合100%（目標値：100%）</p> <p>(2) 地域の特色を生かした献立「萩まるごと食べちゃろうデー」を年間12回実施した。そのうちの9回は、県産食材100%献立として実施した。</p>		
今後の取組	<p>1 一校一取組推進事業</p> <p>今後も継続することで、適切な運動量の確保による基礎体力の向上を目指す。</p> <p>2 保健推進事業</p> <p>生活チェックを継続して行うことで、望ましい生活習慣づくりを支援するとともに、家庭や地域と連携し、健康な体づくりへの意識向上を図る。また、新型コロナウイルス感染症予防対策に係る取組を着実に実施する。</p> <p>3 食育推進事業</p> <p>引き続き、チーム・ティーチングによる食育指導を実施するとともに、朝食をとらないことが常態化している児童生徒については、個別に指導・対応を行う。</p> <p>地域の特色を生かした献立を用いた食に関する指導を更に充実させ、地域の食文化についての理解を深めさせる。</p>		
学識経験者の意見	<p>・新型コロナウイルス対策に関連して、学校でのマスクの取扱い方が徹底されていないケースがあるように思う。小学校低学年の子どもにも分かりやすい言葉で、マスクを着けなければいけない場面、熱中症対策等のために外してもよい場面を</p>		

しっかりと指導してほしい。

- 教員が正しい感染予防対策を身に付け、児童生徒に示すことが重要であると思う。
今後、感染予防に対する気の緩みが危惧されるが、自分の健康は、自分自身で守るということを粘り強く指導してほしい。
- マスクをずっと着けることで、イライラを募らせたり、呼吸のしづらさ、免疫力の低下等を感じたりという問題も出てきているので、メリハリのあるマスクの使い方を指導できると良い。

項目	地域コミュニティの核としての学校づくり	担当課	学校教育課
目的・目標	<p>コミュニティ・スクールを核として、地域や保護者が連携・協働し、地域ぐるみで子どもの学びや育ちを支える取組を推進するとともに、地域に開かれ、地域に貢献する学校づくりを目指す。</p>		
実施状況・成果	<p>1 コミュニティ・スクール推進事業</p> <p>(1) 学校運営協議会の設置率100%（目標値：100%）</p> <p>全小中学校に学校運営協議会が設置されてから4年目となり、学校教育活動及び学校運営に対する地域住民の理解が深まり、ボランティア等による学校運営への協力・支援が定着している。</p> <p>地域の行事への参加・協力により、児童生徒の地域貢献活動を進める等、地域と協働する取組を行う学校が増えている。</p> <p>(2) 中学校区で小中合同学校運営協議会を設置する学校が徐々に増加している。</p> <p>児童生徒が参加する「熟議」を開催し、地域協育ネットと連携した取組へと発展させている事例もある。</p> <p>2 開かれた学校づくり事業</p> <p>(1) ホームページを運営する学校100%（目標値：100%）</p> <p>ホームページに公開しているコミュニティ・スクールの情報等を契機に、他県から視察の申込みが寄せられており、本市の先進的な取組が評価されている。このほか、小中一貫教育校に係る情報についても積極的に発信し、本市の取組の周知に努めている。</p> <p>(2) 学校評価を公表する学校の割合100%（目標値：100%）</p> <p>学校評価の公表が全校で実施されており、学校関係者にも評価項目が周知され、定着している。また、当該評価項目に、学校運営協議会で協議された内容等を加えることにより、学校運営協議会と連携したPDCAサイクルが定着しつつある。</p>		
今後の取組	<p>1 コミュニティ・スクール推進事業</p> <p>業務改善の視点を取り入れた取組により、コミュニティ・スクールの推進から生じる多忙感を覚える管理職や教職員は少ない。一方、事業の効果を実感している学校は多く、引き続き事業の推進及び業務改善に努める。</p> <p>2 開かれた学校づくり事業</p> <p>(1) ホームページの充実を図るとともに、萩市秘書広報課、山口県教育委員会等</p>		

	<p>を通じた報道機関等への情報発信を促進する。</p> <p>(2) 学校評価については、校区内の小学校と中学校で、共通の評価項目を設けるよう働きかける。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で、多くの地域行事が中止になっており、子どもと地域が関わる機会がなくなっている状況だと思う。この状況がいつ収束するか分からないが、それも踏まえて、今後の地域と学校の関わり方を考えていかなければならない。今年度整備される1人1台パソコンを活用し、テレビ会議システムを通じて地域と関わる方法など、様々な手法を今後検討していただきたい。 ・学校のホームページについて、更新頻度が低い学校がある。しっかりと活用し、情報発信に努めてほしい。 ・コミュニティ・スクールについては、活動が足踏み状態となっているところもあり、見直しをすべき時期に来ているものもあると思う。 ・他の学校運営協議会の活動を知ることで、参考になることもあるので、市内全体の学校運営協議会同士の意見交換の機会として、研修会、活動発表会等が開催できないか検討していただきたい。

項目	教育の専門家としての教師の育成	担当課	学校教育課
目的・目標	<p>初任者、2年次～4年次、ミドルリーダー等、教員それぞれのキャリアステージに応じて、基礎的・基本的な研修から専門的な研修までを実施することで、個々の教員の資質及び能力の向上を図る。</p>		
実施状況・成果	<p>1 キャリアステージに応じた教職員研修事業</p> <p>(1) はぎ人材育成1,000日プランの実施</p> <p>対象教員（初任者～4年次）の在籍校のうち1,000日プランを実施する学校の割合100%（目標値：100%）</p> <p>全対象教員43名が1,000日プランを作成し、当該プラン及び実施状況を校内人材育成会議で共有することにより、全校体制で人材育成を推進した。</p>		
今後の取組	<p>1 キャリアステージに応じた教職員研修事業</p> <p>(1) 市内の全学校が、はぎ人材育成1,000日プランや各学校の校内研修の計画を共有し、教職員研修の活性化を図る。</p> <p>(2) 山口県教育委員会が作成する「山口県教員人材育成指標」を活用し、各学校におけるキャリアステージに応じた人材育成を推進する。</p>		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒による授業評価の件にもつながるが、研修等を通じて子どもから学ぶという姿勢をしっかりと身につける場としていただきたい。 ・ユニット型研修については、若手教員だけでなく、ベテランの教員にも実施し、授業改善や、子どもたちとのコミュニケーションの向上につなげていただくよう、効果的な研修を検討していただきたい。 		

項目	特色ある学校づくりの推進	担当課	学校教育課																				
目的・目標	地域や学校の特色を鮮明にした教育の実現に向けて、特色ある教育活動推進拠点校（コアスクール）を設定し、創意と活力に満ちた学校づくりを推進する。																						
実施状況・成果	<p>1 特色ある教育活動推進拠点校構想事業</p> <p>(1) コアスクールの設定率100%（目標値：100%）</p> <p>(2) コアスクールの取組</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>① 松陰教学</td> <td style="text-align: center;">2校</td> <td>⑥ コミュニティ・スクール</td> <td style="text-align: center;">4校</td> </tr> <tr> <td>② ふるさと学習</td> <td style="text-align: center;">15校</td> <td>⑦ 地域との連携</td> <td style="text-align: center;">10校</td> </tr> <tr> <td>③ 小中一貫教育</td> <td style="text-align: center;">6校</td> <td>⑧ 保小中連携教育</td> <td style="text-align: center;">4校</td> </tr> <tr> <td>④ キャリア教育</td> <td style="text-align: center;">6校</td> <td>⑨ 伝統文化の継承</td> <td style="text-align: center;">2校</td> </tr> <tr> <td>⑤ 農業・林業体験学習</td> <td style="text-align: center;">2校</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 重複学校有り</p> <p>(3) 地域を学習の場として地域人材を活用した教育活動を展開し、地域の歴史、自然、産業等を継承・発展させる心情を育む取組を実施した。</p> <p>① 明倫小学校、椿東小学校 松陰教学及び松下村塾の志を取り入れた教育</p> <p>② 大島小中学校 萩大島ふるさと創造科を基軸としたキャリア教育</p> <p>③ むつみ小学校 コミュニティ・スクールの仕組みを生かした農業体験学習</p> <p>④ むつみ中学校 豊かな森林資源を活用した体験学習</p> <p>⑤ 川上小・中学校 阿武川学習を通じた教育の推進</p> <p>(4) 学校の規模、立地条件等を活用し、小中学校で一貫した教育活動を展開し、幼児・児童・生徒間及び地域とのつながりを深めた。</p> <p>① 三見小中学校、大井小中学校、大島小中学校、相島小中学校、見島小中学校、福栄小中学校 小中一貫教育の推進</p> <p>② 川上小・中学校、越ヶ浜小・中学校 保小中連携教育の推進</p>			① 松陰教学	2校	⑥ コミュニティ・スクール	4校	② ふるさと学習	15校	⑦ 地域との連携	10校	③ 小中一貫教育	6校	⑧ 保小中連携教育	4校	④ キャリア教育	6校	⑨ 伝統文化の継承	2校	⑤ 農業・林業体験学習	2校		
① 松陰教学	2校	⑥ コミュニティ・スクール	4校																				
② ふるさと学習	15校	⑦ 地域との連携	10校																				
③ 小中一貫教育	6校	⑧ 保小中連携教育	4校																				
④ キャリア教育	6校	⑨ 伝統文化の継承	2校																				
⑤ 農業・林業体験学習	2校																						

<p>今後の取組</p>	<p>1 特色ある教育活動推進拠点校構想事業</p> <p>萩市ひとつづくり構想及び萩市ひとつづくり推進計画に基づいた人材育成を進めていくとともに、地域の特色を生かした教育の実現に向け、全小中学校区で小中一貫教育を推進する。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫のコアスクールの取組は、中学校進学時に進学先が分かれてしまうような小学校など、地域によっては難しいところがあると思う。地域や学校に応じて、カリキュラムの中で一貫性を持った取組ができるようにするなど、小学校と中学校がしっかりと連携して取り組んでいただきたい。 ・萩市の一次産業の資源を子どもたちに有効活用してもらえるような教育活動ができると良い。山間部に住む子どもたちには漁業体験を、離島の子どもたちには林業体験を、といったように、自分の住まいとは違う地域の産業に接することができると、子どもたちの新しい経験になり、関心を持つ契機になると思う。そうした取組が、地域の活性化にもつながるよう、地域を学習の場として、地域の人材と連携し、地域の資源を十分に活用していただきたい。

項目	教育環境の整備	担当課	教育政策課
目的・目標	<p>安全な教育環境のもとで、児童生徒が安心して学習することができるよう、施設整備及び維持管理を計画的に実施するとともに、情報化の進展に対応した機器整備等を実施し、安全で質の高い教育環境の整備及び充実を図る。また、中学生が地元の高校に進学しやすい環境を整え、地元高校への進学率の向上を目指す。</p>		
実施状況・成果	<p>1 学校施設整備事業</p> <p>(1) 空調設備設置事業</p> <p>児童生徒の熱中症対策として、国の冷房設備対応臨時特例交付金を活用し、全小中学校の普通教室に空調設備設置事業（平成30年度繰越事業）を実施した。その他、萩東中学校調理場に空調機を設置した。</p> <p>(2) その他の施設整備事業</p> <p>① 椿東小学校…………屋内運動場床改修工事、倉庫新築工事</p> <p>② 佐々並小学校……屋外トイレ設置工事</p> <p>③ 多磨小学校…………正門等フェンス設置工事</p> <p>④ 越ヶ浜小学校……高圧気中負荷開閉器外改修工事</p> <p>⑤ 市内小学校…………投てき板撤去工事</p> <p>⑥ 越ヶ浜中学校……高圧気中負荷開閉器外改修工事</p> <p>⑦ 三見小中学校……高圧気中負荷開閉器外改修工事</p> <p>⑧ 見島小中学校……グラウンドフェンス設置工事</p> <p>2 コンピューター整備事業</p> <p>平成26年度から計画的に電子黒板の整備を進めている。また、平成30年度からは、教職員用のパソコンの更新を実施している。</p> <p>3 安心安全な学校給食提供事業</p> <p>県産食材使用率74.3%（目標値：70%以上）</p> <p>食育及び地産地消の推進を図るため、萩産の食材を活用する「萩まるごと食べちゃろうデー」及び「県産食材100%献立」を実施した。</p> <p>4 市内高校へ進学しやすい環境整備事業</p> <p>市内高校への進学率72.6%（目標値：80%）</p> <p>高校に遠距離通学する高校生を対象にした列車・バス定期代の一部助成のほか、離島等に居住する通学困難な女子高生を対象とした女子寮の運営等、市内高校への進学を支援する事業を実施した。</p>		

	<p>また、事業開始初年度のグローバル50奨学金事業では、第1号の奨学生が決定したほか、各報道機関の記事で制度が取り上げられるなどの成果があった。</p> <p>市内高等学校、市立中学校及び教育委員会が高校魅力化への方策を協議する場（高校魅力化プロジェクト会議）を設け、連携して市内高等学校への進学者確保のための取組を協議した。</p> <p>このほか、山口県教育長に対して、「公立高等学校入学者選抜における県外募集の実施」、「高校魅力化をサポートする市の取組への協力」について要望をした。</p>
<p>今後の取組</p>	<p>1 学校施設整備事業</p> <p>安全で快適な教育環境整備事業として、学校施設のLED照明への転換、特別教室等への空調設備の整備の検討及び障がい者、性的マイノリティの子ども達等への配慮として、洋式トイレ等の整備を実施し、教育環境の充実を図る。</p> <p>学校施設全体の洋式トイレ等の整備については、公共施設全体のトイレ整備方針を踏まえ、関係部署と調整し整備を進める。</p> <p>2 コンピューター整備事業</p> <p>児童生徒1人1台端末の整備、学校と家庭や学校間で双方向のやり取りが出来る環境を令和2年度中に整備する。また、引き続き、電子黒板や教職員用のパソコンの更新を進め、教育環境の改善を図る。</p> <p>3 安心安全な学校給食提供事業</p> <p>産地情報交換会を毎月行い、引き続き「萩まるごと食べちゃろうデー」を実施する等、地元産食材の使用に努める。</p> <p>4 地元の高校へ進学しやすい環境整備事業</p> <p>引き続き市独自の施策として、市内高校への進学を支援する事業を実施する。また、広報はぎ等で高校の情報発信を行うなど、中学生が市内の高校へ進学したいと思う環境づくりを推進する。</p> <p>高校魅力化プロジェクト会議により、中学校、高校及び教育委員会の連携強化を図るとともに、市内高等学校の魅力化を推進するためのサポーターを配置し、高校の魅力化に向けた取組を推進する。</p> <p>市内や市外、県外からの志願者が安心して市内高校に進学できるよう、高校生の住居確保の援助及び住環境の充実のため、高校生寮の整備について検討を進める。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<p>・高校選択に当たっては、大学進学率や、難関大学への進学実績のほか、通学手段、通学時間、通学経費、可否の可能性、部活動といった様々なことを総合的に判断して、各中学生とその保護者が進路を決定されることと思われる。市内高校を進学先とする中学生を増やすためにも、高校の魅力化に当たっては、高校自体のレ</p>

ベルアップが図られることとともに、高校の探究活動などの魅力的な取組の周知など、市で支援ができることへの協力も重要であるため、引き続き魅力ある学校づくりへの支援に取り組んでいただきたい。

- ・市内の高校では、自分で課題を見つけ、試行錯誤しながら解決策を見つけ出し、自ら解決する能力と、それを他者にプレゼンテーションする能力を身につけるための探究活動に取り組まれている。大学生や社会人として求められる能力を養う人材育成の優れた取組と実績があることを、更に中学生や保護者などに伝えられるよう、情報発信に努められたい。

項目	生涯学習の基礎づくり	担当課	文化・生涯学習課
目的・目標	<p>生涯にわたる学習活動の基礎を身につけるため、幼児期から高齢期までの各時期に応じ、教養、趣味、文化、芸術、スポーツ等による生活の質の向上を図るとともに、自己実現のための学習内容及び学習方法を自ら選択し、自分にふさわしい学習活動が積極的に実施できるよう、市民と行政が協働した取組を推進する。</p>		
実施状況・成果	<p>1 家庭教育支援基盤形成事業</p> <p>保育園及び各小中学校の参観日、就学時検診等を活用した子育て講座及び公民館等における未就園児とその保護者を対象とした親学講座の実施により、子育てに係る悩みの解消を図る等、家庭での子育てを支援した。</p> <p>開催実績 ① 子育て講座 43回 延べ1,129人参加 ② 親学講座 16回 延べ453人参加</p> <p>2 生涯学習推進事業</p> <p>ニーズに合った学習機会の提供及び青少年教育団体、生涯学習推進団体等への支援により、学習機会の充実を図った。</p> <p>また、令和元年度から成人式を市内の有志の若者により組織する実行委員会主催とし、式典及びアトラクションの企画運営を行った。</p> <p>(1) 未来を切り拓くひとづくりセミナー開催事業</p> <p>① 辻井いつ子氏「明るく楽しくあきらめない」 入場者200人 ② 荻原健司氏「本気は本物か」-キング・オブ・スキーと呼ばれた男- 入場者200人</p> <p>(2) 成人式開催事業 出席者367人</p> <p>(3) 萩子ども情報センター協議会補助事業</p> <p>乳幼児から中学生までの子ども及び保護者を対象とした子育て等に係る様々な情報を提供する情報誌の発行を行った。年6回5,450部発行</p> <p>(4) 萩子どもセンター補助事業</p> <p>実績 ① 子どもの諸活動支援事業 83回延べ3,810人参加 ② 子育て支援事業 49回延べ654人参加 ③ 子どもと文化に関する活動広報紙 15,000部発行</p> <p>(5) 萩ユネスコ協会補助事業</p> <p>実績 ① 令和元年度萩ユネスコ協会総会・文化講演会</p>		

	<p>3 萩市美術展開催事業</p> <p>市民の美術作品等を募集・展示する美術展を開催することにより、地域に根ざした文化・芸術活動の推進を図った。</p> <p>実績 出展作品数 小中学生の部 851点、高校・一般の部 91点 招待作家作品展示数 34点 入場者数 2,770人</p> <p>4 文化活動支援事業</p> <p>文化イベントの開催等を支援することにより、市民に多様な文化・芸術に触れる機会を創出し、市民の文化・芸術活動の発展に努めた。</p> <p>実績 ① 桂文枝 独演会 入場者500人 ② 宝くじ文化公演 吉田正記念オーケストラ 入場者850人 ③ 萩市民音楽祭 入場者800人</p>
今後の取組	<p>1 家庭教育支援基盤形成事業</p> <p>これまでの取組の実施内容及び成果を踏まえ、子育ての悩み、不安等を抱える保護者が孤立しないよう、事業の更なる充実を図り、引き続き家庭における子育ての支援を行う。</p> <p>家庭教育支援チームを強化し、学校・家庭・地域の連携を図ることにより、子育て等の不安解消を図る。</p> <p>2 生涯学習推進事業</p> <p>萩市ひとづくり構想の目指すひとの姿を踏まえ、様々な年代に対し、ニーズに合った多様な学習機会の提供による人材育成に努めるとともに、学習成果を発揮できる機会づくりを推進する。</p> <p>3 萩市美術展開催事業</p> <p>引き続き事業を継続し、地域の文化・芸術活動の振興及び普及を図るとともに、美術作品を鑑賞する機会の提供により、市民の文化向上を推進する。また、より多くの市民参加を促すため、事業の周知に努める。</p> <p>4 文化活動支援事業</p> <p>市民団体等による文化イベントの開催等に対する支援を継続して実施することにより、市民が文化・芸術活動に参加する機会又は文化・芸術を鑑賞する機会を創出し、本市の文化・芸術の向上及び普及を推進する。</p>
学識経験者の意見	<p>・子育て講座や親学講座はとても良い取組だと思う。現在、親学講座は未就園児とその保護者のみが対象となっており、参加を希望しても、要件を満たさず参加できないケースがある。家庭教育支援基盤形成事業の支援をより広く受けられるよ</p>

う、保育園児等の保護者でも参加できるようにするなど、開催時間や参加基準等について、検討していただきたい。

- ・子育て講座、親学講座の他に、保護者カフェや家庭教育支援チームの取組についても、PRしてほしい。

項目	生涯学習の場と人づくり	担当課	文化・生涯学習課
目的・目標	<p>交流活動等による青少年の社会性・公共性の育成を目指す青少年の健全育成の推進並びに豊富な知識、経験等を有する個人又は団体の掘起し及び生涯学習推進団体等への支援による生涯学習を支える人材の育成に努める。また、図書館、公民館等の社会教育施設の充実を図ることにより、学習成果の発表の場を作り、市民の生涯学習活動の推進を図る。</p>		
実施状況・成果	<p>1 子ども・若者総合支援事業</p> <p>(1) 子ども・若者総合サポート会議開催事業</p> <p>ニート、ひきこもり、不登校等社会生活を円滑に営む上で困難を有する子どもや若者に対し、地域の関係機関等が連携して、総合的かつ効果的な支援を行った。</p> <p>(2) 萩ユースふれあいスペース事業</p> <p>高校進学後やむを得ず中途退学した青少年及び中学校卒業後様々な事情により進学できなかった青少年を対象として、コーディネーター5名により、自立に向けた指導・支援を行い、青少年の自発性・社会性を育む居場所づくりを行った。</p> <p>在籍者数 8人</p> <p>2 放課後子ども教室事業</p> <p>「地域の子どもは地域で育てる」を目標に、放課後又は休日に放課後子ども教室を開催し、安心・安全な居場所づくりを推進した。</p> <p>開催実績 22教室998回 延べ10,583人参加</p> <p>3 萩地域青少年育成市民会議補助事業</p> <p>家庭の日、子ども110番等ののぼり旗の作成・掲示による啓発、有害図書類等の追放のための市内店舗の巡回点検の実施等により、青少年の健全育成に望ましい環境の整備に努めた。</p> <p>活動実績 ① こども110番の家(車)設置活動 594箇所</p> <p>② 家庭の日普及啓発活動 毎月第3日曜日開催</p> <p>③ 青少年にとって好ましくない環境の浄化活動の推進 7月6日に、商店街、カラオケボックス、レンタルビデオ店、書店等の巡回を実施</p> <p>4 公民館・コミュニティ施設改修、整備事業</p> <p>各地域の公民館及びコミュニティ施設の修繕、改修及び整備を実施し、生涯学習活動等による学習成果の発表の場の環境整備を行った。</p>		

	<p>(1) 各地域の公民館等の修繕・改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 旭マルチメディアセンター……エレベーター修繕 ② 弥富交流促進センター……棟のし瓦葺替工事、LED照明器具設置 ③ むつみコミュニティセンター……給水ユニット等更新 ④ 田万川コミュニティセンター……女子トイレフラッシュバルブ取替え ⑤ 三見公民館……エレベーター設置、入口扉取替え <p>(2) 福栄コミュニティセンター整備事業</p> <p>老朽化が著しく、耐震性が確保されていない福栄コミュニティセンター及び福栄総合事務所について、両施設を合築して、既存の福栄保健センターに増築整備し、令和2年3月に竣工した。</p> <p>(3) 大島複合施設整備事業</p> <p>老朽化した大島公民館、出張所及び診療所の建替えに合わせ、デイサービス施設を一体的に整備することで、島民が安心して生活できるサービスの提供体制を整えるための当該整備事業について、実施設計を行った。</p>
<p>今後の取組</p>	<p>1 子ども・若者総合支援事業</p> <p>困難を抱える子どもや若者が、就学、就業等を行い、自立した社会生活を営むことができるよう、各関係機関が連携し、切れ目のない継続的な支援を推進する。</p> <p>また、様々な年代の引きこもりに対する相談窓口の一本化を目指し、国の方針を踏まえ、相談窓口の体系及び支援体制について、関係課及び関係団体と調整を図る。</p> <p>2 放課後子ども教室事業</p> <p>全ての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験活動を行うことができるよう、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型の計画的な整備を推進する。</p> <p>3 萩地域青少年育成市民会議補助事業</p> <p>家庭、学校、職場及び地域社会の役割分担と相互協力により、強力な青少年育成市民運動を展開し、青少年の健全育成を推進する。</p> <p>4 公民館・コミュニティ施設改修、整備事業</p> <p>各公民館及びコミュニティ施設の点検を実施し、改修を行うことにより施設の延命化を図る等、適切な施設管理を引き続き実施する。また、施設の耐震化及びバリアフリー化未対応施設の整備方針等の検討を進める。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<p>・放課後子ども教室で、活動内容に興味を持って参加した子どもたちが、十分に学び、活動できるような環境づくりに努めていただきたい。</p>

項目	生涯学習によるまちづくり	担当課	文化・生涯学習課
目的・目標	<p>地域の歴史、文化、諸課題について、市民が自ら学習し、理解し、まちづくりに参加する機運を醸成・向上するため、地域は地域住民自ら守るという意識のもと、公民館を拠点に、住民と行政が協働し、生涯学習によるまちづくりを推進する。</p>		
実施状況・成果	<p>1 生涯学習運営体制の整備・充実</p> <p>(1) 社会教育委員会議等の開催</p> <p>官民協働の生涯学習の推進のため、社会教育委員会議等を開催し、課題、解決策等について協議し、生涯学習の推進に努めた。</p> <p>(2) 公民館管理運営事業</p> <p>地域住民からなる公民館運営審議会を組織し、公民館における各種事業の企画運営について審議する等、住民と行政が意見を交えながら生涯学習を推進する体制を整備し、積極的な活動を実施している。</p> <p>2 萩地域コミュニティ補助事業</p> <p>地域の課題を解決するため、各地域コミュニティ組織の充実及び組織への住民参画を推進するとともに、その活動の支援を行った。</p> <p>補助実績 ① 子ども会育成連絡協議会</p> <p>萩地子連球技大会、たこづくり教室、たこあげ大会等の開催</p> <p>② 萩市連合婦人会</p> <p>萩市連合婦人会総会の開催、交通安全母の会の活動支援</p> <p>3 地域協育ネットの推進</p> <p>概ね中学校区を単位として、幼児期から中学校卒業程度までの子どもの育成・学習を地域ぐるみで見守り、支援するための地域協育ネットを全中学校区に設置し、家庭・学校・地域が連携して子どもを育てることにより、子どものふるさとへの愛着を深めるとともに、地域住民の生きがいとなるよう、活動の推進に努めた。</p>		
今後の取組	<p>1 生涯学習運営体制の整備・充実</p> <p>公民館の公設民営化の検討を引き続き行うとともに、市民との協働による公民館の運営並びに活動の充実及び推進を図りながら、地域づくりに貢献する。</p> <p>2 萩地域コミュニティ補助事業</p> <p>引き続き地域コミュニティ組織の活動を支援する。子ども会育成団体の相互の連絡調整及び活動の充実を図り、心身ともに健全な少年の育成に努めるとともに、市内単位の婦人会相互の連絡調整を図り、女性の教養活動を支援し、住みよい地域づ</p>		

	<p>くりを推進する。</p> <p>3 地域協育ネットの推進</p> <p>地域、関係団体及び学校の連絡調整、情報の共有、活動の企画、調整、運営及び啓発を行うため、全ての地域協育ネットに地域学校協働活動推進員を配置する。</p> <p>地域協育ネットの仕組みを基盤とし、次代を担う子どもたちに郷土を愛する心や地域の担い手としての意識の醸成を図り、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりの推進を行う。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<p>・子どもの人数に関わらず、運営の負担感等から、子ども会を廃止している地区が増えているようだが、子ども会がないと、地域協育ネットにおいて、地域の方と子どもが関わる活動が成り立たないこともある。行政や学校から、子ども会の意義や参加する楽しさを伝え、子ども会活動の推進に努めていただきたい。</p>

項目	生涯スポーツの推進	担当課	スポーツ振興課
目的・目標	<p>全ての市民が年齢、体力、興味・関心、適性等に応じて、スポーツを楽しみ、スポーツを観覧し、スポーツを支える活動に参加できるよう、生涯スポーツ施策の推進に取り組む。</p>		
実施状況・成果	<p>1 幼児期の体力の向上</p> <p>子どもの体力を把握し、幼児期からスポーツ活動を習慣化し、体力の向上を目指し、総合型地域スポーツクラブである至誠館クラブ等と連携し、幼児の総合的な体力アップや、スポーツへの関心の向上に努めた。</p> <p>総合型地域スポーツクラブの広報活動として、広報はぎで至誠館クラブの活動やプログラムの紹介を行った。また、至誠館クラブの設立1周年記念事業では、柔道教室、親子運動あそび、アーチェリー体験教室、eスポーツの体験等を実施した。</p> <p>2 生涯スポーツの推進</p> <p>スポーツへの市民の興味・関心を高めるため、地域のスポーツ大会を開催する等スポーツに積極的に関わる取組を推進するとともに、スポーツ大会等に係る情報を発信し、スポーツ活動の普及・啓発に努めた。また、スポーツに関心の無い市民に対し、初心者向けの教室を開催し、生涯スポーツ人口の増加及び市民の健康増進を図った。</p> <p>(1) 市主催大会 ① 萩市長杯高等学校硬式野球大会 市内高等学校2校</p> <p style="padding-left: 40px;">② 萩市民春季・秋季ソフトボール大会</p> <p style="padding-left: 80px;">春季大会 1部9チーム 2部10チーム</p> <p style="padding-left: 80px;">秋季大会 1部7チーム 2部12チーム</p> <p style="padding-left: 40px;">③ 萩市民春季・秋季バレーボール大会</p> <p style="padding-left: 80px;">春季大会 6チーム 秋季大会 7チーム</p> <p>(2) 市主催教室 ① 弓道教室 15回開催、各6人参加</p> <p style="padding-left: 40px;">② バドミントン教室 10回開催、各18人参加</p> <p style="padding-left: 40px;">③ 卓球教室 10回開催、各35人参加</p> <p>(3) 各地域が実施するスポーツ大会及び運動会への支援</p> <p style="padding-left: 40px;">補助実績 スポーツ大会2件、運動会4件</p>		
今後の取組	<p>1 総合型地域スポーツクラブへの支援</p> <p>現在、萩市内の総合型地域スポーツクラブとしては、むつみスポーツ振興会と至誠館クラブが活動しているが、市民への周知不足のため、参加者が少ない状況であ</p>		

	<p>る。今後、周知活動に更に注力し、各クラブのプログラムの紹介等の情報発信を通じ、参加者の増加を図る。</p> <p>2 スポーツ活動への参加促進</p> <p>現在開催している地域のスポーツ大会については、参加チームの増加に向け、周知活動に努めるとともに、市民誰もが参加しやすいものとなるよう、参加条件、内容等の見直しを行う。また、新たな競技による市民大会を行うなど、市民の参加しやすい大会の実施に努める。</p> <p>3 スポーツ活動への支援</p> <p>身近な地域で開催するスポーツ大会及び運動会については、市民の健康増進及び親睦の場として重要な機会であるため、引き続き支援を行うとともに、参加者の増加に向け、周知に取り組む。</p> <p>4 生涯スポーツの普及並びに健康及び体力の保持増進</p> <p>現在開催しているスポーツ教室に加え、他の競技に係る教室も実施できるよう、各競技団体の協力を仰ぎながら、調整を行っていく。</p> <p>5 障がい者スポーツの推進</p> <p>障がい者スポーツ大会やふうせんバレーボール大会の実施等で、多くのボランティア活動を行っているが、今後は、障がい者と健常者の多くの人々が交流することができる機会の創出に努める。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブでは、今後、更に多くの方が参加できるよう、指導者の確保や受け皿としての発展に向け、引き続き連携を図ってほしい。 ・新型コロナウイルスの影響で、スポーツ教室等の開催ができないケースが多くなっていると思うが、体操教室等の動画を配信するなど、可能な範囲で工夫して、活動機会の提供に取り組んでいただきたい。

項目	競技水準の向上	担当課	スポーツ振興課
目的・目標	優秀な選手の育成のために、中・長期的な観点から計画的に選手及び指導者の育成等に取り組み、優れた選手と指導者の活用により、地域の競技水準の向上を目指す。		
実施状況・成果	<p>1 スポーツ選手・指導者の計画的な育成</p> <p>萩市体育協会やスポーツ少年団等と連携し、指導者の育成に努めるとともに、全国大会等に出場する個人及び団体に対して補助を行うことにより、優れた選手等の育成に資する取組を実施した。</p> <p>(1) 萩市体育協会への支援</p> <p>指導者の育成や加盟団体の指導等に係る活動に対して補助を行った。</p> <p>(2) 萩市スポーツ少年団本部への支援</p> <p>市内のスポーツ少年団の取りまとめ、団員及び指導者の育成等に係る活動に対して補助を行った。</p> <p>(3) 全国大会出場者等助成事業</p> <p>補助実績 ① 全国大会出場 個人51人、団体7件 ② 県大会出場 団体16件</p> <p>2 オリンピック出場内定選手への支援</p> <p>本市在住のオリンピック内定選手を支援するため、川上特設カヌー競技場の練習環境の整備調整及び練習日程の調整を行った。</p>		
今後の取組	<p>1 スポーツ選手・指導者の計画的な育成</p> <p>競技者及び指導者の育成並びにスポーツの振興に資するため、引き続き萩市体育協会、スポーツ少年団、各競技団体等との連携強化及び全国大会等出場者への支援に努める。</p> <p>2 オリンピック出場内定選手への支援</p> <p>東京オリンピックの開催は、1年間延期されたが、引き続き練習環境の整備等の調整を図り、支援を継続する。</p>		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団については、特に旧町村部では、指導者の確保が難しい状況があり、十分な活動ができていないところもある。指導者を紹介するシステムなど、指導に係る協力体制の構築について、検討していただきたい。 ・川上小学校と川上中学校では、体育の授業でカヌーに取り組んでいる。子どもたちに向け、そういった活動をPRすることで、カヌーをやりたいという子どもたちが川上に来てくれることにつながれると良いと思う。 		

項目	人材の育成	担当課	スポーツ振興課
目的・目標	<p>次代を担う子どもたちの心身をスポーツによって健やかにたくましく育むとともに、公正・規律を尊ぶ人間性の涵養^{かんよう}に取り組む。また、スポーツ指導者やボランティア等スポーツを支える人材を育成する。</p>		
実施状況・成果	<p>1 将来のスポーツ活動を担う人材の育成 スポーツ少年団や体育協会加盟団体の指導者に対し、指導者講習会を実施するとともに、県で行われる資格取得に係る研修会や講習会の開催の周知に努めた。</p> <p>2 地域のスポーツを支える人材の育成 萩城下町マラソン、萩市民駅伝大会等の開催に当たり、延べ約1,500名以上のスポーツボランティアや地域住民のボランティアの方々に協力をいただいた。 スポーツ推進委員の研修としては、自主的な各地域での研修会のほか、県、中国地方、全国で行われた研修会にも参加し、自己研鑽^{けんざん}に努めた。</p>		
今後の取組	<p>1 将来のスポーツ活動を担う人材の育成 指導者の育成について、引き続きスポーツ少年団指導者連絡協議会や体育協会と協働するとともに、大学などの教育機関とも積極的に連携を図り、指導者の育成に努める。</p> <p>2 地域のスポーツを支える人材の育成 スポーツボランティアの育成について、広報はぎの活用やSNS等による周知のほか、気軽にボランティアに参加できるスポーツイベントの開催に努める。 スポーツ推進委員については、各地域でのスポーツ活動のボランティアにとどまるのではなく、積極的な自主活動でのスポーツ推進が求められることから、今後も研修会への参加を呼びかけるなど、主体的な活動につながるよう支援に努める。</p>		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・城下町マラソンは人気が高く、参加者も地域のボランティアの方々も楽しんでいただいている。参加者からは、ボランティアの方の協力があるから、また来たくなるというお話も聞いているので、引き続きボランティアの方々と連携して大会を運営していただきたいと思う。 ・ボランティアなくしてスポーツ大会の運営はできないので、ボランティアの育成には、今後ともしっかりと努めていただきたい。 		

項目	スポーツの推進による交流人口の拡大及び地域の活性化	担当課	スポーツ振興課
目的・目標	地域特性を考慮し、スポーツの有する多様な可能性を活用するとともに、市民が主体となって推進されるスポーツ活動の環境づくりへの取組を通じ、交流人口の拡大による地域の活性化を促進する。		
実施状況・成果	<p>1 スポーツの推進によるまちづくり</p> <p>本市のスポーツ振興の主要事業である萩城下町マラソン、萩往還ワンデーウォークのほか、競技団体等が実施する大会等に対して支援を行った。また、萩ならではのスポーツイベントを含めたコンベンションの誘致に取り組み、地域の観光資源開発に資するよう努めた。</p> <p>(1) 主なスポーツ大会への補助</p> <p>平成31年度カヌースラローム日本代表選手最終選考会兼2019カヌースラロームジャパンカップ第2戦、日隈杯争奪近郷柔道大会</p> <p>(2) 市内スポーツイベントの運営に係る補助・支援</p> <p>① 萩城下町マラソン大会</p> <p>開催実績 参加者3,312人（うち約2,800人が市外からの参加）</p> <p>② 萩往還ワンデーウォーク</p> <p>申込実績 参加者：佐々並コース505人、明木コース492人</p> <p>※ 本事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。</p> <p>③ 駅伝大会</p> <p>開催実績 参加団体：萩市駅伝競走大会131チーム</p> <p style="text-align: center;">むつみ縦走駅伝競走大会25チーム</p> <p>2 世界大会等キャンプ地誘致推進事業</p> <p>オリンピック競技大会のキャンプ地誘致により、市民のスポーツへの関心・意欲の向上を図るとともに、地域の活性化の促進を目指した。</p> <p>(1) キャンプ地の誘致に向け、日本カヌー連盟等と調整を行った。</p> <p>スロベニアカヌー連盟ディレクターの視察並びにスウェーデン及びカナダの選手のキャンプを実施した。</p> <p>(2) キャンプ地の誘致活動に合わせ、山口県カヌー協会に委託し、カヌー体験教室を実施した。</p> <p>開催実績 7月から11月まで全74回 延べ249人参加</p>		

<p>今後の取組</p>	<p>1 スポーツの推進によるまちづくり</p> <p>地域の観光資源の創出、地域におけるスポーツの振興等を図るため、引き続き、各競技団体と連携・協力し、スポーツ大会等の実施を支援する。</p> <p>萩城下町マラソン大会、萩往還ワンデーウォーク、駅伝大会等のスポーツイベントについては、市外からの参加者も多く、地域の活性化を図る目的においても重要であるため、引き続き開催を支援する。</p> <p>2 世界大会等キャンプ地誘致推進事業</p> <p>(1) オリンピックの開催は2021年へ延期となったが、オリンピック競技大会のキャンプ地誘致の合意に向け、引き続き日本カヌー連盟等を通じた活動に注力する。</p> <p>(2) 本市在住のオリンピック内定選手がいることから、今後も引き続きオリンピック開催に向けた機運醸成に努める。</p> <p>(3) キャンプ地誘致に合わせたカヌー体験教室の実施により、地域住民等にカヌー競技が親しまれるよう、周知活動に努める。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で、今後開催されるスポーツイベントは、通常通りの開催はできない状況にあると思うが、大会規模や参加者の制限等、適切に検討していただきたいと思う。 ・川上地域では、川上の小中学生を対象として、カヌーでの阿武川下りのイベントを実施している。今年は、このイベントを受けて、市内の他の地域の子どもたちを対象とした、同様のイベントを併せて開催することとなった。この例のように、地域活性化のイベントが少しずつ広がっているという状況もあるので、このような地域の取組についても取り上げて、是非PRしていただきたい。

項目	図書館運営を通じた官民協働及び読書活動の推進	担当課	萩図書館
目的・目標	NPO萩みんなの図書館との協働や地域住民のボランティアの活用により、市民の豊かな知識や経験、技能等を図書館運営に生かした共助による読書活動を推進する。		
実施状況・成果	<p>1 NPO萩みんなの図書館との協働による図書館運営</p> <p>(1) 萩図書館の管理運営事業を協働により実施</p> <p>萩図書館運営実績等 ① 利用者数 78,497人</p> <p>② 貸出点数 258,489点</p> <p>③ レファレンス件数 592件</p> <p>④ 受入蔵書数 8,855冊</p> <p>⑤ NPO職員主催行事 146回</p> <p>⑥ NPO職員主催展示 64回</p> <p>(2) 萩図書館サポート活動事業 会員主催行事 53回</p> <p>2 NPO会員による自主活動</p> <p>環境美化班、読み聞かせ班、イベント班、図書整理班、寄贈本仕分班、歴史関係読書班、喫茶運営班、楽しい音読班等の自主活動として、図書館まつり、古本市等の開催のほか、門松づくり、イルミネーションの設置等、季節ごとの環境整備等を実施した。</p> <p>喫茶・軽食コーナー「カフェぶらり」は、市民交流の場としての利用が増加している。常設古本コーナー「ブックぶらり」においては、寄贈本の有効活用が図られた。</p> <p>3 レファレンス専門員の活用</p> <p>郷土史、維新史等に関する知識を生かし、レファレンス対応を行うとともに、ミニ郷土史講座「夏の歴史館」を開催した。</p> <p>開催実績 レファレンス対応 17件</p> <p>夏の歴史館 6回開催、延べ258人参加</p> <p>4 図書館ボランティアの活用</p> <p>須佐図書館及び明木図書館では地域住民による読み聞かせ等のボランティア活動を実施した。</p>		
今後の取組	<p>1 NPO萩みんなの図書館との協働による図書館運営</p> <p>図書館業務の更なる充実及び効率化を図り、継続して職員の資質向上に努める。</p>		

	<p>2 NPO会員による自主活動 各班での自主活動をより活発化し、図書館運営を支える。</p> <p>3 レファレンス専門員の活用 郷土史及び維新史関係のレファレンス等への対応を行うとともに、ミニ郷土史講座「夏の歴史館」を引き続き開催する。</p> <p>4 図書館ボランティアの活用 地域住民に広く呼びかけ、会員を増やすよう努めるとともに、ボランティアによる自主的な活動を充実させる。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、選書に当たっては、様々な分野を広く取り入れるようにしていただいたと意見を出したが、その後、様々な分野の本が新書として入ってくるようになったと感じる。子どもたちも喜んで利用している。 ・子供向け、ティーン向けといったコーナーや分野ごとのコーナーが作られ、以前より展示内容が分かりやすくなったと思う。地域の図書館でも、様々な企画展をされるとともに、利用者からのリクエストへの迅速な対応など、多くの方が利用しやすい図書館づくりに取り組まれていると思う。 ・学校と連携し、適切な図書館の利用方法等について周知を図ることが必要だと思う。

項目	家庭・地域・学校・図書館での子どもの読書活動の推進	担当課	萩図書館
目的・目標	家庭、地域、学校及び図書館の役割の明確化並びに当該役割に応じた主体的な取組の推進を図るとともに、相互連携のためのネットワークの構築を行う。		
実施状況・成果	<p>1 家庭・地域での読書活動推進</p> <p>(1) ネットワーク化によるサービスの推進</p> <p>市内3図書館の資料の通送便を活用したサービスの提供</p> <p>(2) 乳幼児健診での読書案内及びハローブック事業の啓発</p> <p>(3) 移動図書館車による保育園等への巡回及び読み聞かせの実施</p> <p>2 学校での読書活動推進</p> <p>(1) 団体貸出の実施</p> <p>貸出実績 ① 萩図書館 21校 5,151点</p> <p>② 須佐図書館 4校 2,006点</p> <p>③ 明木図書館 3校 1,048点</p> <p>(2) 小学校及び中学校に対する調べ学習用資料の貸出</p> <p>(3) 移動図書館車の学校への巡回、読み聞かせ及び出前講座の実施による読書の推進</p> <p>移動図書館巡回実績 ① 萩図書館 15校 貸出6,447冊</p> <p>② 須佐図書館 4校 貸出3,296冊</p> <p>読み聞かせ開催実績 ① 須佐図書館 1校 26回</p> <p>② 明木図書館 2校 12回</p> <p>出前講座開催実績 ① 萩図書館 5校 8回、校長会 1回</p> <p>② 須佐図書館 1校 1回</p> <p>3 図書館での読書活動推進</p> <p>(1) おはなし会、子ども向け行事等の開催</p> <p>開催実績 ① 萩図書館 156回 延べ2,558人参加</p> <p>② 須佐図書館 19回 延べ737人参加</p> <p>③ 明木図書館 88回 延べ1,016人参加</p> <p>(2) 読書通帳の活用</p> <p>読書通帳発行部数 年間307冊</p>		

<p>今後の取組</p>	<p>1 家庭・地域での読書活動推進</p> <p>(1) 萩図書館、須佐図書館及び明木図書館のネットワーク強化により、効率よく資料提供できるよう努める。</p> <p>(2) 移動図書館及び乳幼児健診等での読書案内、おはなし会等、館外での読書啓発を継続して実施する。</p> <p>2 学校での読書活動推進</p> <p>新たに小学校に向けた単元ごとの調べ学習用図書の貸出を始めるとともに、出前講座の実施等、学校支援の更なる充実を図る。</p> <p>3 図書館での読書活動推進</p> <p>(1) 図書館行事又はテーマに沿った図書展示等を継続して行い、子どもの読書活動推進に努める。</p> <p>(2) 読書通帳を活用した読書啓発に努める。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単に読書を勧奨するだけでなく、本に関心の無い子どもでも興味を持つことができるようなアクティビティを通じて、読書への動機付けをすることができるよう、図書館と学校が連携して取組を進めていただきたい。 ・図書館では、ブックトークやビブリオバトルをはじめ、本に興味を持つきっかけとなるような良い取組をされている。一方で、そういった活動が十分に周知されていない状況があるため、校長会等の機会を活用し、図書館の様々な取組について学校等に周知し、子どもの読書活動につなげていく必要がある。

項目	子どもの読書活動推進のための環境整備及び推進者への支援	担当課	萩図書館
目的・目標	子どもに読書の習慣をつけさせるとともに、知識及び想像力を養うため、資料の充実及び施設等の整備を推進する。また、読書活動を支援する専門的職員の資質向上及び学校等で活動する読書ボランティアへの支援を図る。		
実施状況・成果	<p>1 蔵書の充実</p> <p>子どもの発達段階に応じた乳幼児コーナー、児童コーナー及びティーンズコーナー並びに外国語を母国語とする子どものための外国語図書コーナーを設置する等、蔵書の充実を図っている。</p> <p>児童図書の受入数 ① 萩図書館 2, 183点 ② 須佐図書館 326点 ③ 明木図書館 273点</p> <p>2 特集展示の充実 実施回数 ① 萩図書館 57回 ② 須佐図書館 36回</p> <p>3 電子図書の充実及び利用促進</p> <p>パソコン、スマートフォン、タブレット端末等で閲覧することができる3D図鑑、動く絵本のほか、児童生徒の調べ学習に役立つコンテンツの充実を図り、利用促進に努めた。</p> <p>電子図書利用実績等 ① 所蔵数 3, 427点 ② 貸出数 2, 057回 ③ 閲覧数 2, 442回</p> <p>4 読書に障がいのある子どもへのサービス</p> <p>点字図書、音声図書、拡大文字図書、LLブック、布の絵本、マルチメディアデージー図書等（以下「点字図書等」という。）を備え、障がいのある子どもに対応できる読書環境の整備を行っている。新たにマルチメディア図書の視聴コーナーを設置し、障がい者サービスコーナーの充実を図った。</p> <p>点字図書等所蔵数 点字図書 40冊 音声図書 29点 拡大文字図書 45冊 LLブック 15冊 布の絵本 36点 マルチメディアデージー図書 34点</p>		

	<p>5 読書活動ボランティアの活動支援 子ども読書活動推進委員会を開催し、萩市内の読書活動団体、学校図書館支援員等の活動状況等を報告し、情報交換を行った。</p> <p>6 図書館職員の資質向上 研修等に参加し、子どもと本を結びつける技術の向上に努めた。</p> <p>研修参加実績</p> <table border="0"> <tr> <td>① 萩図書館</td> <td>外部研修への参加</td> <td>24回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>館内研修の実施</td> <td>18回</td> </tr> <tr> <td>② 須佐図書館</td> <td>外部研修への参加</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>館内研修の実施</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>③ 明木図書館</td> <td>外部研修への参加</td> <td>1回</td> </tr> </table>	① 萩図書館	外部研修への参加	24回		館内研修の実施	18回	② 須佐図書館	外部研修への参加	4回		館内研修の実施	1回	③ 明木図書館	外部研修への参加	1回
① 萩図書館	外部研修への参加	24回														
	館内研修の実施	18回														
② 須佐図書館	外部研修への参加	4回														
	館内研修の実施	1回														
③ 明木図書館	外部研修への参加	1回														
<p>今後の取組</p>	<p>1 蔵書の充実 子どもの幅広い知的要求及び子ども読書活動推進者の要望に応えるため、蔵書の一層の充実に努める。</p> <p>2 特集展示の充実 子どもたちの関心をひく特集コーナー作りに努める。</p> <p>3 電子図書の充実及び利用促進 図書館のイベントの際に電子図書の体験コーナーを設置する等、利用促進に努める。</p> <p>4 読書に障がいのある子どもへのサービス 点字図書等の資料の充実とサービスの周知に努める。</p> <p>5 読書活動ボランティアの活動支援 萩市内の読書活動団体及び学校図書館支援員との連携強化を図るとともに、研修会等の開催による資質向上及び人材育成に努める。</p> <p>6 図書館職員の資質向上 山口県立図書館等が実施する外部研修等に積極的に参加し、子どもと本を結びつける技術の向上に一層努める。</p>															
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で、図書館が閉館となっていたこともあり、電子図書の利用が増加したとのことだが、今後も電子図書への需要は高まっていくと思う。現状では、蔵書数に限りがあり、貸出し中の電子図書を予約する必要があるため、今後の状況を勘案しながら、蔵書数を増やすよう検討していただきたい。 ・障がい者の方にも、本を読む楽しさを知ってもらうため、障がい者用の図書も更に充実していただきたい。 															

項目	読書活動への理解と関心を深めるための啓発活動	担当課	萩図書館
目的・目標	読書の意義及び重要性について、関係機関と連携を図りながら、講演会、イベント、図書館見学、職場体験等の実施を通じ、市民の理解及び関心の醸成を図る啓発活動を進める。		
実施状況・成果	<p>1 関係機関との連携</p> <p>関係機関との連携事業及び行政職員への積極的な情報提供の実施</p> <p>(1) 関係機関と連携して事業を実施</p> <p>連携機関 至誠館大学、児童館、税務署、児童クラブ、NPO法人読書普及協力チーム山口、市役所各課</p> <p>(2) 行政職員へ毎月新刊情報を提供</p> <p>2 図書館見学及び職場体験の受入れ</p> <p>小学生の図書館見学及び中学生等の職場体験の受入れを実施</p> <p>受入実績 ① 萩図書館 見学2回、職場体験16人</p> <p>② 須佐図書館 見学4回、職場体験1人</p> <p>③ 明木図書館 見学5回</p> <p>3 啓発・広報活動の推進</p> <p>読書活動及びイベントに関する情報をホームページやブログ、地域メディア等を利用して発信するとともに、イベント等の開催や展示のほか、萩図書館内に職員おすすめの本のコーナーを設置するなど、読書活動の推進の広報に努めた。</p> <p>イベント等の開催実績</p> <p>① 萩図書館 行事 一般向け42回、児童向け157回</p> <p>展示 一般向け40回、児童向け7回</p> <p>② 須佐図書館 行事 一般向け8回、児童向け16回</p> <p>展示 一般向け24回、児童向け12回</p> <p>③ 明木図書館 行事 一般向け3回、児童向け87回</p> <p>展示 一般向け3回、児童向け1回</p>		
今後の取組	<p>1 関係機関との連携</p> <p>引き続き関係機関との連携により、幅広い図書館活動を展開し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層を対象とした事業を行う。</p> <p>2 図書館見学及び職場体験の受入れ</p> <p>図書館見学及び職場体験の受入れによる図書館利用のきっかけ作りを支援する。</p>		

	<p>3 啓発・広報活動の推進</p> <p>読書活動及びイベントに関する情報を積極的に発信し、関係機関、団体等への情報提供に努める。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生の職場体験やインターンシップに加え、小学生についても、職場体験や職場見学があれば、本に関心の無い子どもが、興味を持つきっかけにできるのではないかと思う。 ・小中学校の調べ学習等で、図書館が活用できると、より良い学習につながると思う。学校と図書館が連携し、図書館内で児童生徒が資料調査をしたり、意見交換をしたりできるようなスペースを作ることができたら良いと思う。 ・地域の図書館の様子を見ると、多くの楽しいイベントを企画されており、地域の子どもたちにも利用しやすい図書館作りをされている。今後も、様々な種類の図書を活用し、本が好きになるような、また、図書館に行く動機付けとなるようなイベントを続けていただきたい。 ・ケーブルテレビ等のメディアを活用し、図書館の魅力や取組、図書館の機能の活用方法などをしっかりPRしていただきたい。